

前作としてブロッコリーを作付けすることによるナス半身萎凋病の発病抑制

研究のねらい

近年、県内のナス栽培において、土壌病害であるナス半身萎凋病による被害が問題となっています。アメリカ・カリフォルニア州では、ブロッコリーの前作によって、カリフラワー半身萎凋病の防除に成果を挙げていることから、この技術を応用し、前作にブロッコリーを作付けすることによるナス半身萎凋病の防除効果を検討しました。

技術の特徴

- 1 前作としてブロッコリーを作付け（栽培・収穫後、残さすき込み）することにより、後作のナス栽培における半身萎凋病の発生が減少します（写真、図1）。
- 2 ブロッコリーは、ナス半身萎凋病の病原菌に感染しますが、維管束褐変は花蕾部には到達せず、収穫物には影響しません（図2）。
- 3 ナス半身萎凋病の多発圃場では効果が劣ることから、発病拡大を未然に防ぐ予防的手段として活用してください。

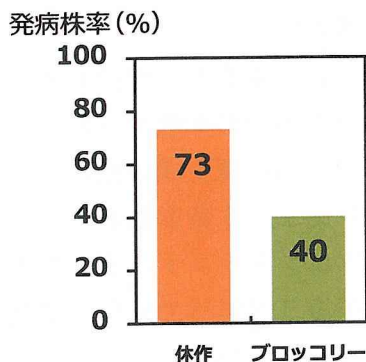


図1 ブロッコリー前作による発病抑制

今後の取り組み

今後は、県内で問題となっている他の土壌病害について、発生実態や防除方法を検討する予定です。

（執筆者：池田 健太郎）

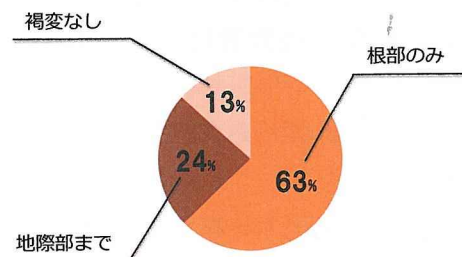
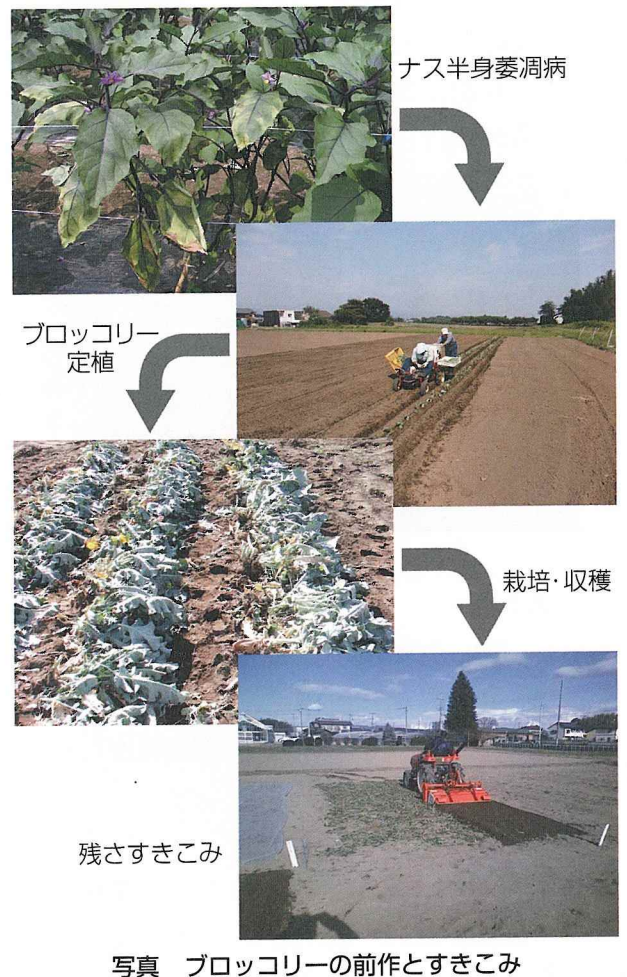


図2 発病圃場でのブロッコリーの維管束褐変程度